

「他分野、他国から学ぶバイオガス利用」

1 日時 平成 27 年 11 月 20 日（金） 13:30～17:00

2 場所 （公財）日本下水道新技術機構 8 階会議室

3 開催主旨

当水倶楽部ではこれまで、「21 世紀の消化技術を考える」（2012.10.12）で、山形市、大阪市の事例、「再生可能エネルギーの活用現場をめぐる」（2013.11.21）で、株洲市、佐賀市の事例を紹介した。現在は、他分野のバイオマスとの Co-digestion プロジェクト（神戸市グリーン・スイーツなど）、消化ガスを利用した水素創エネ技術（福岡市など）が注目され、いずれも国の B-DASH プロジェクトとして進行中である。こうした中、今後の下水道バイオガスの利用進展を考えるうえで、農業廃棄物等他分野のバイオガス利用の事例やバイオガス利用の先進国であるドイツの実態を見ておくことは大いに参考になるものと思われる。本研究集会では、それぞれの分野の専門家の先生から講演をいただくとともに、今後の対応について意見交換を行う。

4 プログラム

13:30 開会挨拶 21 世紀水倶楽部理事長 亀田泰武

13:35～14:15 「家庭・食品廃棄物及び畜産廃棄物のバイオガスプロジェクト

—震災復興に係るバイオガスプロジェクト紹介を含む—

東北大学名誉教授 野池達也

14:15～14:55 「ドイツにおけるバイオガス利用の普及拡大」

バイオエナジー・リサーチ&インベストメント社 代表取締役 梶山恵司

14:55～15:35 「下水道を核にしたバイオガス利用」

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻助教 日高 平

15:55～16:55 総合討論（質疑を含む）

コーディネータ：水倶楽部理事 佐藤和明

5 参加者及び費用

・参加者 70 名（申込み先着順、定員になり次第締切らせていただきます。）

・参加費 会員、大学及び公共団体等：無料

民間企業等：2 千円

6 参加申込み

・申込み方法：NPO21 世紀水倶楽部ホームページ <http://www.21water.jp/>

研究集会参加登録フォームからお願いします。

お申込みは平成 27 年 10 月 30 日までをお願いします。

・お問合せ E-mail：sympo-info@21water.jp、担当 昆 TEL：03-3980-4567

7 交流会

研究集会終了後、交流会（約 1 時間、参加費千円）を予定しています。